

KANEKA

カガクでネガイをカナエル会社

2026年3月期 第2四半期(中間期) 決算説明資料

2025年11月12日(水)
株式会社 **カネカ**



INDEX

2026年3月期第2四半期 決算サマリー 01

業績概要 02

事業概況 04

貸借対照表 08

キャッシュ・フロー計算書 09

連結業績予想などの将来予測情報 10

トピックス 13

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2026年3月期第2四半期 決算サマリー

世界経済の状況 —深刻な米国関税政策の影響と地政学リスク拡大—

- 米国：利下げの一方、関税政策を背景に物価高からインフレ進む
- 欧州：景気は当面減速
- 中国：内需不振と米国向け輸出の低調が重なり景気不振
- 国内：海外経済の影響を受け、円安・消費者物価上昇・深刻な人手不足。企業業績を下押し

2026年3月期2Q累計 実績

売上高
3,974億円
(対前年+0.4%)

営業利益
150億円
(対前年▲21.7%)

親会社株主に帰属する
中間純利益
110億円
(対前年+8.7%)

- 売上高：増収を確保
- 営業利益：(増益要因) Medical の拡販、好調継続
(減益要因) Vinyls アジア市況の低迷継続、MOD・MS 欧米建築需要の停滞長引く
E&I 回復遅れ、為替影響
Foods 2Qに価格改定・高付加価値品シフト進むも、1Q減益が響く
- 純利益：(増益要因) 政策保有株式縮減による売却益など

トピックス

- Medical: 日本ゼオン(株)の医療器事業について、事業譲渡契約を締結
⇒ 医療器事業の基盤を強化し、業容拡大

業績概要

(単位:億円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減(対前年同期比)	
			金額	%
売上高	3,960	3,974	15	0.4%
営業利益	191	150	△41	△21.7%
経常利益	144	118	△26	△18.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益	102	110	9	8.7%
営業利益率	4.8%	3.8%		
1株当たり中間純利益	160.48円	176.51円		

為替・原料価格

期中平均レート(米ドル)	152.8円	146.0円
期中平均レート(ユーロ)	166.1円	168.1円
国産ナフサ	78,250円	65,150円

(前年同期比)

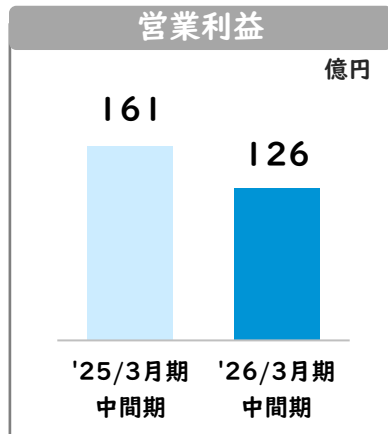
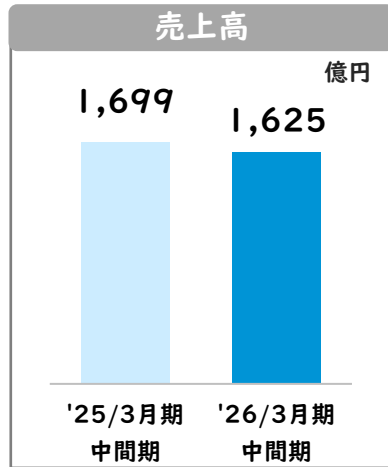
- 売上高 : 増収
- 営業利益、経常利益 : 減益
- 純利益 : 増益

セグメント別 売上高・営業利益

(単位:億円)

	売上高				営業利益			
	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減		2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期	増減	
			金額	%			金額	%
Material SU	1,699	1,625	△74	△4.4%	161	126	△35	△21.6%
Quality of Life SU	934	970	36	3.9%	96	94	△1	△1.2%
Health Care SU	364	373	10	2.6%	54	60	6	10.3%
Nutrition SU	958	1,001	43	4.5%	64	60	△5	△7.7%
その他	4	5	0	8.1%	2	2	0	11.0%
調整額	-	-	-	-	△186	△192	△6	-
計	3,960	3,974	15	0.4%	191	150	△41	△21.7%

事業概況



(Material Solutions Unit)

Vinylsはアジア市況低迷継続、MOD・MSは米国住宅・建築市場の需要低調 ⇒ 減収減益

Vinyls and Chlor-Alkali

- 上期実績 : か性ソーダの販売は前年を上回る。塩ビのアジア市況低迷継続
- 下期見通 : 4Q以降の販売回復を見込む

Performance Polymers (MOD)

- 上期実績 : 米国の住宅・建築市場は需要調整継続
- 下期見通 : 差別化力ある高付加価値製品(非塩ビ用途・MXなど)の拡販に注力

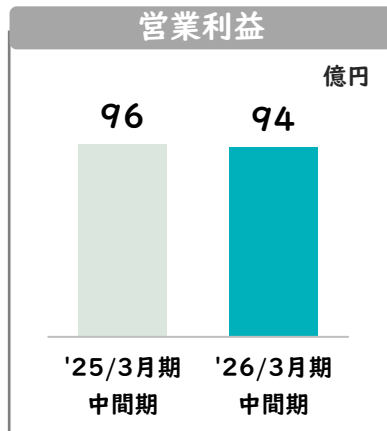
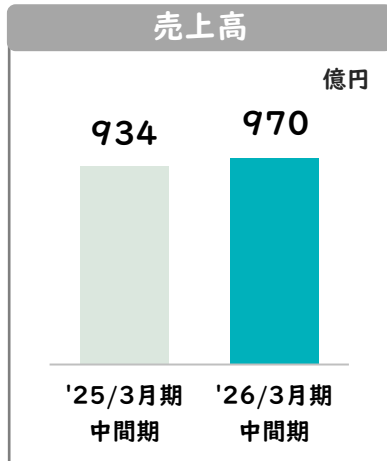
Performance Polymers (MS)

- 上期実績 : 1Qを底に欧米での需要が回復
- 下期見通 : 欧州での拡販や他素材からの置換が進展。グローバルでの需要回復を見込む

Green Planet

- 上期実績 : 大型案件での顧客評価が順調に進展
- 下期見通 : 販売拡大に向け、供給体制の強化を推進

事業概況



(Quality of Life Solutions Unit)

E&Iの回復遅れ ⇒ 小幅な減益

Foam & Residential Techs

- 上期実績： 価格改定・コストダウンなどのスプレッド改善が進展
- 下期見通： 継続的に採算性向上に取り組み、収益拡大を図る

E & I Technology

- 上期実績： ポリイミドフィルム・光学用アクリル樹脂は1・2Q通じて販売価格・原料高騰・為替影響により減益
- 下期見通： 高付加価値グレード（高周波ポリイミド・アクリル樹脂改良品など）の拡販を推進

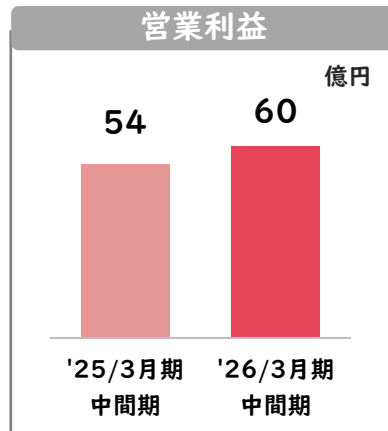
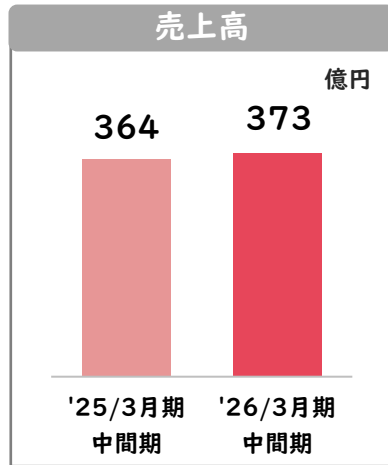
PV & Energy management

- 上期実績： 国内住宅向け高効率太陽電池の販売堅調
- 下期見通： 建材一体型PVの市場拡大が進む
ペロブスカイト太陽電池は、タンデム型での技術開発が進展

Performance Fibers

- 上期実績： 頭髮製品の販売が好調。難燃ファブリックの一部原料が高騰
グローバル需要は着実に伸長
- 下期見通： 難燃ファブリックのスプレッド改善を急ぐ

事業概況



(Health Care Solutions Unit)

Medicalの拡販継続 ⇒ 増収増益

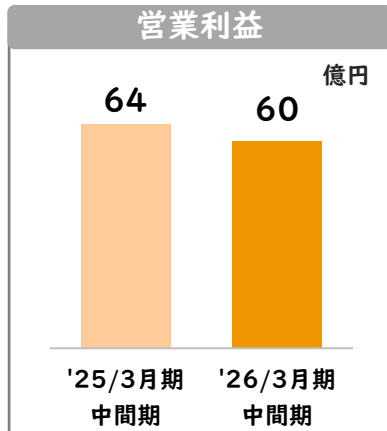
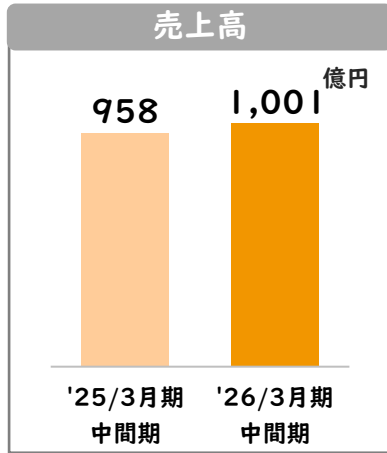
Medical

- 上期実績：血液浄化器およびカテーテルの拡販により、当社最大の収益事業に北海道新プラント（苫東工場）も早々に戦力化済み
- 下期見通：カテーテル新プラントの建設は順調に進展
事業基盤投資の強化（日本ゼオンより消化器・循環器領域の医療器事業を譲受）により、更に業容拡大を目指す

Pharma

- 上期実績：バイオ医薬品の定修影響や販売案件のずれ込みにより低調
- 下期見通：低分子・バイオ医薬品の新規案件の実績化が進む
⇒ 下期以降収益が大きく回復
国内外での研究開発をさらに強化し、ドメインを拡大する

事業概況



(Nutrition Solutions Unit)

Supplementの拡販、Foodsの高付加価値品シフトが進展 ⇒ 増収減益

Supplemental Nutrition

- 上期実績：米国市場を中心に還元型Q10の拡販が進展
- 下期見通：グローバル市場（アジア・オセアニアなど）で拡販が進展 ⇒ 収益は着実に伸長

Foods & Agris

- 上期実績：2Qの価格改定・高付加価値品シフトが進み、スプレッド改善
1Q未達はオフセットできず
- 下期見通：高付加価値品シフト・「B2C」事業での新製品拡販が進展
⇒ 高水準の収益を確保

貸借対照表

(単位:億円)

		2025年3月末	2025年9月末	増減
資産の部	流動資産	4,445	4,458	13
	固定資産 等	4,756	4,787	31
	資産合計	9,201	9,245	44
負債の部	有利子負債	2,033	2,071	38
	その他	2,244	2,213	△31
	負債合計	4,277	4,284	7
純資産の部	自己資本	4,713	4,741	28
	非支配株主持分 他	211	221	9
	純資産合計	4,924	4,961	37
負債、純資産 合計		9,201	9,245	44
自己資本比率		51.2%	51.3%	
D/Eレシオ		0.43	0.44	
1株当たり純資産		7,488.51円	7,714.59円	

- 総資産 : 棚卸資産・有形固定資産増などにより増加
- 負債 : 仕入債務減などの一方、借入金増により増加
- 純資産 : 利益剰余金増などにより増加
- 自己資本比率 : 51.3%

キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2025年3月期 中間期	2026年3月期 中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	230	246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 304	△ 153
フリー・キャッシュ・フロー	△ 74	93
財務活動によるキャッシュ・フロー	16	△ 94
現金及び現金同等物の増減額 (含 換算差額、連結の範囲の変更に伴う増減)	△ 52	△ 3
現金及び現金同等物の期末残高	381	443

- 営業CF : 税金等調整前中間純利益や減価償却費などにより246億円の収入
- 投資CF : 有形固定資産の取得などにより153億円の支出
- 財務CF : 配当金の支払や自己株式取得により94億円の支出
- 現金及び現金同等物の期末残高は443億円

連結業績予想などの将来予測情報

(単位:億円)

	2025年3月期	2026年3月期		増減	
	実績	前回予想 (5/14)	修正予想	対前年	対前回予想
売上高	8,072	8,200	8,000	△ 72	△ 200
営業利益	401	420	370	△ 31	△ 50
経常利益	329	380	314	△ 15	△ 66
親会社株主に帰属する 当期純利益	253	330	330	77	-
営業利益率	5.0%	5.1%	4.6%		
1株当たり当期純利益	400.91円	524.36円	534.03円		
1株当たり配当金	130.00円	160.00円	160.00円		
ROE(自己資本当期純利益率)	5.5%	7.2%	7.0%		
為替・原料価格					
期中平均レート(米ドル)	152.6円	145.0円	150.0円		
期中平均レート(ユーロ)	163.9円	155.0円	170.0円		
国産ナフサ	75,475円	70,000円	65,000円		

- ✓ ライフサイエンス領域を強化し、差別化技術により、ポートフォリオ変革を急ぐ
- ✓ 世界経済は米国関税問題の深刻化、更なる長期化が懸念。地政学リスクや為替変動など不確実な要素も根強い
 - 2025年5月14日公表の連結業績予想を修正
 - 純利益は資本効率の向上を進め、期初予想の達成を目指す

連結業績予想などの将来予測情報(セグメント別)

(単位:億円)

	売上高					営業利益				
	2025年 3月期	2026年 3月期		増減		2025年 3月期	2026年 3月期		増減	
	実績	前回予想 (5/14)	修正予想	対前年	対前回予想	実績	前回予想 (5/14)	修正予想	対前年	対前回予想
Material SU	3,429	3,370	3,230	△ 199	△ 140	310	310	268	△ 42	△ 42
Quality of Life SU	1,910	1,960	1,950	40	△ 10	200	210	183	△ 17	△ 27
Health Care SU	773	910	840	67	△ 70	134	171	170	36	△ 1
Nutrition SU	1,950	1,950	1,970	20	20	131	137	147	16	10
その他	11	10	10	△ 1	-	5	5	4	△ 1	△ 1
調整額	-	-	-	-	-	△ 379	△ 413	△ 402	△ 23	11
計	8,072	8,200	8,000	△ 72	△ 200	401	420	370	△ 31	△ 50

※SU:Solutions Unit

連結業績予想などの将来予測情報(セグメント別)

▶ 業績予想に関する説明(下期見通)

- ✓ **Material** : Vinyls アジア市況低迷継続も4Qからの回復見込む
 MOD 米国の住宅・建築市場は1.2Qを底に回復
 MS 欧州での拡販や他材料からの置換が進展、アジアを含めグローバル拠点での拡販進む
- ✓ **QOL** : Foam スプレッド改善が収益向上を牽引
 E&I ポリイミド・アクリル樹脂の堅調な需要が継続、高付加価値グレードの増販が進展
 Fiber 難燃資材の原料高騰は緩やかに回復
- ✓ **Health Care** : Medical 新製品拡販・販売地域拡大(アジア・米国)、M&Aなどにより業容拡大がさらに進展
 Pharma 低分子・バイオ医薬品ともに3Qから新規案件の販売が増加。4Qに本格回復の見通し
- ✓ **Nutrition** : Foods スプレッド改善が進展、需要期を迎え拡販進む
 Supplement アジア・オセアニア市場が拡大、新製品(タブレット型還元型Q10)も寄与

トピックス -Medical事業の拡大-

日本ゼオン株式会社の医療器事業に関する事業譲渡契約を締結

- ✓ **ゼオンメディカル**：消化器・循環器領域で豊富な実績と高い技術力を持つメーカー
特に、消化器領域において、多彩な製品ラインアップを保有
- ✓ 事業譲受により、消化器領域（内視鏡処置具）において国内シェア第3位※となる見通し

＜事業譲受の相手先概要＞

会社名：ゼオンメディカル株式会社

資本金：4億52百万円

設立年月日：1989年

＜事業譲受の相手先概要＞

会社名：リバー・ゼメックス株式会社

資本金：30百万円

設立年月日：1999年

※株式会社アールアンドディ「医療機器・用品年鑑」（2025年6月18日発行）の記載情報をもとに、当社において行った予測を含む推計による。（売上高ベース、2025年末時点）

< お問い合わせ >

(株)カネカ IR (Investors Relations) 部

 **03-5574-8090**